



Cisco Catalyst 4500 Supervisor Engine 8-E お よび 8L-E

Catalyst アクセススイッチ用の強力なエンジン

ネットワーク アクセススイッチに直接接続されたユーザ デバイスや Wi-Fi アクセス ポイントからのトラフィック量は急増しています。モバイルの爆発的な成長や、今や 1 Gbps を超えるスピードをサポートする Wi-Fi アクセス ポイント技術によって、ネットワーク アクセススイッチはすぐに飽和状態になり、より強力な高速なアクセススイッチが必要になります。

Cisco 4500 E シリーズ シャーシに統合された、Cisco® Catalyst® 4500 Supervisor 8-E および 8L-E はこれらの要件に最適です。このモジュラ型スイッチは、ビジネスの成長に合わせて拡張可能です。シャーシにラインカードを追加するだけで拡張でき、そのエンジンは強力です。また、パケットサイズに応じたラインレートのパフォーマンスが可能で、これは第三者機関によっても検証済みです。

システムは全体で、384 ギガビットイーサネット POE/POE+/UPOE アクセスポート、または、10 ギガビットイーサネットラインカードポートを 96 ポート備えています。Supervisor 8-E には、10 ギガビットイーサネットアップリンクポートを 8 ポート追加でき、Supervisor 8L-E には 4 ポート追加できます。

8-E での有線とワイヤレスの統合

エンタープライズクラスのスイッチングエンジンである Cisco Catalyst 4500E Supervisor Engine 8-E は、有線とワイヤレスのネットワークを 1 つのプラットフォームに完全に統合します。この統合は、Cisco Unified Access Data Plane (UADP) の特定用途集積回路 (ASIC) で実現されています。有線およびワイヤレスに一貫したポリシーを設定し、両方のネットワーク環境にわたって適用することができます。エンジンは、アプリケーションの可視性と制御などの拡張ネットワーク サービスもサポートしています。

Supervisor 8-E は、1 システムで 928 Gbps までの有線アクセスと、20 Gbps までのワイヤレス終端処理を実現します。Supervisor 8L-E は、1 システムで 560 Gbps までの有線アクセスを実現します。Supervisor Engine 8-E および 8L-E のいずれも、スロットあたり 48 Gbps をサポートし、Flexible NetFlow (FNF)、統合 Wireshark、および MACSec や TrustSec などの高度なセキュリティ機能を搭載しています。

8L-E Supervisor Engine は、8-E の小規模向けバージョンです。有線/ワイヤレス統合機能を除き、8-E と同じ機能とスピードをサポートしています。

利点

- ・ 強力な可用性に優れたアクセススイッチングを実現。
- ・ 有線とワイヤレスのネットワークを 1 つのプラットフォーム* に統合。
- ・ システムのモジュラ特性を活かし、成長に合わせてアクセスネットワークを拡張可能。
- ・ セグメント化されたユーザグループを作成し、各グループにカスタムのセキュリティポリシーおよび QoS ポリシーを適用可能。

*Cisco Catalyst Supervisor 8-E のみ。

アクセスネットワークと分散ネットワークセグメントにおける冗長性は、病院などの緊急対応機関や金融機関といった、ミッションクリティカルな通信が不可欠な企業には特に重要です。

中断のないスイッチング

8-E および 8L-E Supervisor Engine は、可用性に優れたアクセススイッチングプラットフォームです。2つの Supervisor Engine を搭載して冗長化された Catalyst 4500E では、アクティブの Supervisor Engine がリロードした場合、スタンバイの Supervisor Engine がシームレスにテイクオーバーします。ファンや電源装置も同様に冗長化されて組み込まれています。2つの Supervisor Engine を搭載した1つのシャーシでは、各 Supervisor 8-E で4つのアップリンクがアクティブになっています（Supervisor 8L-E の場合、2つのアップリンク）。そのため、これらの各ポートが、1つのアクセス環境で10ギガビットイーサネットアップリンクとして導入されていた場合、アップリンクの冗長性が確保されます。

Cisco Catalyst 4500E エンジンには、シスコ仮想スイッチングシステム（VSS）もサポートしています。2台のスイッチシャーシを接続して、1台の大きな仮想スイッチとして管理できます。1台の物理スイッチでコンポーネントに障害が発生した場合、2台目のリソースが自動的に機能をテイクオーバーします。

投資の保護

Supervisor Engine は、ほとんどの既存の Cisco Catalyst 4500E ラインカードや電源装置との、上位/下位いずれの互換性も備えています。プラットフォームは、ハードウェア対応でキャンパスファブリックテクノロジーをサポートしているため、ユーザをグループ化し、各グループにポリシーを適用することができます。Catalyst 4500E の一元化されたアーキテクチャにより、将来の新テクノロジーによってお客様のネットワークに新たなニーズが発生しても、現在の投資を保護することができます。

次のステップ

Cisco Catalyst 4500E 8-E および 8L-E Supervisor Engine の詳細については、シスコの営業担当者にお問い合わせいただくか、
http://www.cisco.com/web/JP/product/hs/switches/cat4500/prod_literature.html をご覧ください。